価値観の構造に関する研究（1）
—私学視・結婚視・政治意識の関係系—
秋葉 茂則
（大阪教育大学）

問 題
これまで、青年期の生活態度・生活意識をあきらかにするために多くの青年期心理学は、「価値観」研究をおこなってきたが、その多くは青年期の生活態度・生活意識を含む一連の価値観研究に偏っている。このため、価値観の構造に関する研究は、価値観の構造を明らかにするために必要である。特に、価値観の構造に関する研究は、価値観の構造を明らかにするための手段として、価値観の構造を明らかにするために必要である。

目的
私学視・結婚視・政治意識の関係を分析すること。本報告は、その方法論の検討にあたることを目的とする。

方法
①個別面接調査法

1）各回答項目について、ある群を対象とする30項目をランダムに配列し、それを分析する。分析結果を、統計的な方法（自己評価・他者評価）によって解答を求めめる。

2）面接調査の内容を分析する。「自尊的態度」、「革新的態度」を分析する。

注）面接調査を行う前に、情報提供の内容を分析する。分析結果を、統計的な方法（自己評価・他者評価）によって解答を求めめる。

②面接調査の内容を分析する。「自尊的態度」、「革新的態度」を分析する。

被 調 査 者
女子学生（18～19才）76名（1971年春）
各価値観のうち、「保守的」が20点弱であることを示しているので、この分析対象とした。

表1 調査項目表

<table>
<thead>
<tr>
<th>Ⅰ）特徴観（10）</th>
<th>Ⅱ）自己観（10）</th>
<th>Ⅲ）政治的観（10）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>愛国観、幸福観、家庭観、自己のイズムロジーに関する意見</td>
<td>能力、適性、地位、安定性、労働行動、取民間の社会的性質に関する意見</td>
<td>生活観、生活的行動と政治的行動を結びつけるレベル、政治的行動、イズムロジー（政府、政治的行動に関する研究）に関する意見</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注）すべての項目とも「保守」、「革新」の意見比を求める。

表2 各価値観・得点

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>保守的態度</th>
<th>革新的態度</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>結婚観</td>
<td>2.80</td>
<td>7.70</td>
</tr>
<tr>
<td>家庭観</td>
<td>8.76</td>
<td>9.73</td>
</tr>
<tr>
<td>政治的観</td>
<td>7.26</td>
<td>10.20</td>
</tr>
</tbody>
</table>

結果

１）「保守的な態度」をもっていると自己評定した者は、「革新的な態度」をもっている者よりも得点が低い（高得点は革新傾向）分析の結果17項目中16項目で有意（p<0.01）（表2）。

２）「保守的な態度」、「革新的な態度」でみた結婚観が「保守的」の価値観を反映していることが示された。とりわけ、前者においては態度（p<0.01）。

３）結婚観に関連する価値観は、「保守的な態度」、「革新的な態度」ともいうべく、変数を求めていない。それ故、結婚観、家庭観、政治的観の3者間の価値観の図面に示される価値観の「保守的な態度」、「革新的な態度」を総合的に示す結婚観である。いわば、結婚観は「保守－革新」の中点をめどにしている。

図1 再確認

①結婚観、家庭観、政治的観の3者の価値観のいずれがどのような価値観をもっているのかを特定する方法が、何れにも、その価値観は、いかなる指標ももたろうかどうか。

青年心理における「価値観」研究のあり方について、試しに、その方策論についての討論を求望します。